

# 古保利小学校からの報告

## 「みずすまし」水生生物調査結果表

調査場所名 ( No. )		高月町西柳野 No.1				高月町熊野 No.2				高月町西阿閉 No.3					
月	日	時	刻	6月1日 13時30分				6月22日 9時30分				6月28日 13時30分			
天		晴れ				晴れ				晴れ					
水温 ( °C )		21.0 °C				21.0 °C				29.0 °C					
気温 ( °C )		21.0 °C				25.0 °C				29.0 °C					
川幅 ( m )		1.3 m				4.1 m				1.1 m					
河川名		用水路(余呉川支流)				余呉川				余呉川支流					
生物を採取した場所		全面				全面				全面					
水深 ( cm )		52.0 cm				25.0 cm				2.0 cm					
流速 ( cm / s )		7.5 cm/s				20.0 cm/s				100.0 cm/s					
水の様子		指標生物													
きれい	1	カワゲラ類													
	2	ナガレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツビケラ類											○		
	3	ヒラタゲロウ類													
	4	ブユ類													
	5	ヘビトンボ類													
	6	ガガンボ類							○				○		
	7	サワガニ													
I・II共通	8	ウスムシ類			○										
	9	2以外のトビケラ類													
	10	3、14以外のカゲロウ類							○				○		
II 少しよごれている	11	ヒラタロムシ類													
	12	シジミ類			○				○				●		
II・III共通	13	カワニナ			○				○				●		
III よごれている	14	サホコカゲロウ													
	15	ヒル類			●								○		
	16	ミスムシ			○										
	17	モノアラガイ													
III・IV共通	18	サカマキガイ											○		
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ													
	20	イトミス類			○								○		
	21	ハナアブ類			○										
水質判定表	水のおよすの区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	
	1	みつかった指標生物の種類の数 (○+●)	1	3	3	2	2	3	1		3	3	3	2	
	2	みつかった指標生物のうち一番数の多くあった種類(●)			1							2	1		
	合計 (1欄+2欄)		1	3	4	2	2	3	1		3	5	4	2	
	判定結果(合計が最も大きい区分)		III				II				II				

## 【調査活動を行う児童の実態】

古保利小学校では、毎年、4年生が「みずすまし」となり、「総合的な学習の時間」に調査活動を行っています。今年度の4年生は、男子4名、女子10名、計14名です。水生生物調査をするにあたって、これまでに水生生物調査をしたことがあるか聞いてみると、全くないという児童がほとんどでした。また、「川に入るなんて気持ち悪い。」「生き物を触らなあかんの。」と調査活動に消極的な児童と「どんな生物がいるのか調べてみたい。」「わたしの住んでいる地区では調査しないの?」と調査活動に意欲的な児童がいました。

## 【調査活動を行う前に】

4年生の1学期の「総合的な学習の時間」に、「みずすまし」としてどんなことがしたいか、話し合いました。児童の意見を聞くと、「自分の住んでいる地区の川にどんな生物がいるのか調べたい。」「去年の4年生が調べた川で調べたい。」という意見が出ました。これらの意見をもとに、今年度も昨年度調査した川と同じ川で調査することにしました。

今年度調査する川は、

- ① 学校横用水路（余呉川支流（西柳野地点））
- ② 余呉川（熊野地点）
- ③ 余呉川支流（西阿閉地点）

とし、未経験者が多く、調査の仕方や道具の準備、調査のまとめ方を知らないことから、学校に近い場所から始めた方がよいと考え、調査する順番もこの通りとしました。

## 【第1回みずすまし調査】

日時：6月1日 13:30~15:30

場所：学校横用水路（余呉川支流（西柳野地点））

天気：晴れ

### 〈川の様子〉

農作業の時期で、水が多くにごっていました。水位は児童の膝くらいまでありました。水の流りはゆるやかでした。

### 〈調査の様子〉



初めてなので、用具の使い方などの説明を受けました。



川の中や川岸から、様々な生物を採取しました。



採取した生物の名前や生態、調査表のまとめ方を教えていただきました。

### 〈採取生物〉

調査票にある生物：プラナリア、シジミ、カワニナ、ヒル、ミズムシ、イトミミズ、ハナアブ  
調査票にない生物：アメリカザリガニ、ヤゴ（ハグロトンボ）、コオイムシ、ハナアブ（さなぎ）、エビ（スジエビ、ヌマエビ）、魚（カマツカ）、オタマジャクシ

### 〈調査まとめ〉

どの児童も講師の先生の説明をよく聞き、正しく道具を使い、水生生物をつかまえることができました。始めは嫌がっていた児童も、他の児童がしている様子を見て、少しずつ一緒に活動できるようになっていきました。講師の先生から「卵を背に乗せたコオイムシが採取できるのは珍しい」と聞き、児童はとても喜んでいました。初めての調査だったため慣れないこともあり、ひとつひとつの作業に時間がかかってしまい、観察・まとめの時間が十分に取れなかったのが残念でした。

### 【第2回みずすまし調査】

日時：6月22日 9:30~11:30

場所：余呉川（熊野地点）

天気：晴れ

### 〈川の様子〉

余呉川は、前回の余呉川支流に比べ、はるかに川幅が広がったです。前日に雨が降ったため、水位が高く、児童の太もも近くまで水がある場所もありました。川底には泥が多く、川べりはコンクリートで覆われています。また、川の中州には、ヨシや草が生えていました。

### 〈調査の様子〉



川べりが急で、川底にある泥に足を取られ、調査しにくかったです。



川底の泥の中や、中州の草の中にも生物が見つけれられました。



採取した生物の名前や生態を教えていただき、調査表にまとめました。

### 〈採取生物〉

調査票にある生物：ガガンボ、モンカゲロウ、シジミ、カワニナ

調査票にない生物：エビ（ヌマエビ）、アメリカザリガニ、コオイムシ、ドブガイ、魚（ヨシノボリ、カワムツ）、ヤゴ（ハグロトンボ、アカネトンボ、コヤンマトンボ）、オタマジャクシ

### 〈調査まとめ〉

前回の調査で一通りの経験ができ、見通しが持てたこともあり、1回目よりも積極的に取り組む児童の姿がありました。しかし、前回の調査から少し期間が空いてしまったこともあり、道具の使い方や調査票への書き方を忘れてしまっている児童もいました。また、今回の調査では、前日の雨で、普段この川にはおそらく生息していない生物が上流から流れてきたかもしれないという話を聞き、同じ川でも様々な条件でそこに生息する生物に変化があることに気づくことができました。

### 【第3回みずすまし調査】

日時：6月28日 13:30~15:30

場所：余呉川支流（西阿閉地点）

天気：晴れ

#### 〈川の様子〉

水位は3回の調査のうち1番少なく、児童の足首ほどしかありませんでした。また、見た目はきれいで、流れの速い川でした。川べりは石積みやコンクリートによる埋め立てで、川底には砂や泥がありました。

#### 〈調査の様子〉



これまでの経験から水草の中や川べりなどに目星をつけて、生物を探していました。

採取した生物を講師の先生に見せ、生物名を聞く児童もいました。

採取した生物をみんなで観察し、調査表にまとめました。

#### 〈採取生物〉

調査票にある生物：トビケラ、ガガンボ、チラカゲロウ、シジミ、カワニナ、ウマビル、サカマキガイ、イトミミズ

調査票にない生物：エビ（ヌマエビ）、コオニヤンマ（幼虫）、ガムシ（幼虫）、ナベブタムシ、アメンボ、カワトンボ、魚（ヤリタナゴ、ドジョウ、ヨシノボリ、カワムツ）

#### 〈調査まとめ〉

道具の使い方や調査表への書き方が定着してきて、活動がスムーズに進むようになってきました。しかし今回は川の流れが速く、前回、前々回のように上手く生物がとれず、苦労している姿が見られました。また、前回、前々回にいた生物と違う生物が多く、魚をたくさんつかまえることができました。

### 【調査活動の感想】

- ・水生生物調査をして思ったことは、生き物の命はとても大切だということです。今までは、水生生物は川にいて、きたないと思っていましたが、水生生物調査をして、そうではないことに気がつきました。
- ・いろいろな種類の生き物がいて、不思議だなと思いました。もっと調べてみたいと思いました。
- ・生き物がいるような所が少なく、あまりつかまえられるような川でも、たくさんの生き物をつかまえることができました。
- ・貝に丸い小さな貝がついていて、びっくりしました。生物を観察している時に、開いていた貝の中に、いろいろな生き物が出たり入ったりしていておもしろかったです。